



紡績運転技能実習評価 専門級 学科試験問題

せんもんちしき せいぼうこうてい
専門知識： 精紡工程

1. 次の文で正しいものには○、誤っているものには×で答えよ。(30点)

- (1) 精紡工程の目的は、所定の太さにドラフトし、これに撚りをかけ、糸としてボビンに巻き取ることである。
- (2) 粗糸に多少むらや節があっても、精紡でドラフトされ、細くなるため、品質には影響しない。
- (3) コレクターは毛羽立ちや、糸切れ防止に効果がある。
- (4) トラベラーの焼け度合いは、糸切れに大きく影響する。
- (5) エプロンが切れているときは、空錘にする。
- (6) スピンドルテープのジョッキプリー外れは、甘撚となる。
- (7) トランペットの穴詰まりや曲がり、糸切れ、糸むらの原因となる。
- (8) 回転部分に付着した風綿は、運転したままピッカーで除去する。
- (9) 短繊維含有率が大きいほど、糸むらは小さい。
- (10) コレクター外れのままで糸が紡出されていたため、まず糸を切り、外れを修整して管糸の糸継ぎをした。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
○	×	○	○	○	○	○	×	×	×

2. 次の文の()の中のどちらかを選んで、①または②で答えよ。(30点)

- (1) トラベラーが軽すぎると、ボビンに(①硬く ②柔らかく)巻かれる。
- (2) ドラフト部のゴムローラーのことを(①ボトムローラー ②トップローラー)という。
- (3) ボビンの振れがあると、(①糸切れ ②粗糸切れ)が増加する。
- (4) トラベラーの回転はスピンドルの回転より(①少ない ②多い)。
- (5) 機台掃除は、(①上 ②下)からする。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
②	②	①	①	①